

理 科

理科学習のポイント

1. 基本用語を覚える

2年の時に配った一問一答問題を一問でもいいので多く覚えること。何度も何度も繰り返し見直して覚えてください。基本用語そのものが解答になっている問題もありますが、基本用語が問題文の中に入っている場合もあります。このとき、基本用語を覚えていなければ、意味が分からず問題に取り組むこととなります。そのようなことでは、正解を導き出すことはできません。余裕があれば、解答だけを見て、問題を推測できるようになればよりいいかも知れません。

2. 実験・観察を覚える

1～3年の教科書で紹介されている実験・観察は実は約60種類しかありません。まず実験・観察の図をなんとなくでいいので覚えます。次に実験・観察の注意点や使用する薬品名などを覚えます。最後に実験・観察の結果がどのようなかを覚えれば完璧です。

3. 計算をマスターする

1～3年で出題される計算問題をおおざっぱにまとめると、
1年では、地震の発生時刻や震源距離、密度、質量パーセント濃度、圧力、フックの法則
2年では、飽和水蒸気量や湿度、金属と酸素が化合する量、電気（電圧、電流、電気抵抗の関係）
3年では、太陽の日の出や日の入りの時間、速さ、仕事
になります。自分が取りかかりやすい分野から覚えていくといいと思います。

4. 身のまわりの現象に興味をもつ

理科は生活と密接に関係している教科です。ある現象に対して「なんでだろう」と疑問を持ち、それについて調べる。それで立派な理科の学習になります。身のまわりには「なんでだろう」と思うようなことがたくさんあります。何気なく過ごしていたことでも気をつけて見てみると何か気になることがあるかもしれません。

「整理と対策」について

何度も問題を解くことが重要ですが、分かっていたり、できた問題を何度も解く必要はありません。分からなかった、間違った問題を何度も解いて、分かるように、できるようになることが大切です。そうするためには分からなかった、間違った問題にチェックを入れ、後から解き直すときはチェックがある問題だけを解き直すと効率よく何度も問題を解くことができます。チェックが何個もある問題は自分にとって苦手問題であることがわかります。

○「整理と対策」中の計算問題の紹介

- ・ 質量パーセント濃度 P. 24, 25
- ・ 圧力 P. 40, 41
- ・ 地震 P. 48, 49
- ・ 1年のキホン P. 56, 57
- ・ 水蒸気量 P. 89
- ・ 電気 P. 98, 99
- ・ 2年のキホン P. 106, 107
- ・ 仕事 P. 134, 135
- ・ 計算問題集 P. 164, 165, 172, 173, 180, 181

勉強に近道はなし！

コツコツ毎日勉強すること！

